

HERBIE  
GOES TO  
MONTE CARLO



ボンジュール・パリ! ラブバグの「ハービー」が笑いを乗っけてやって来たよオ



スリルと笑い  
笑いとしりるの  
爆笑10,000キロ  
メツチャクツチャ大レース!



アーアー  
レース中に何やってんの  
えっプロポーズ!  
もー知らないから〜



ラブバグ  
©1977 Walt Disney Productions

# モンテカルロ大爆走

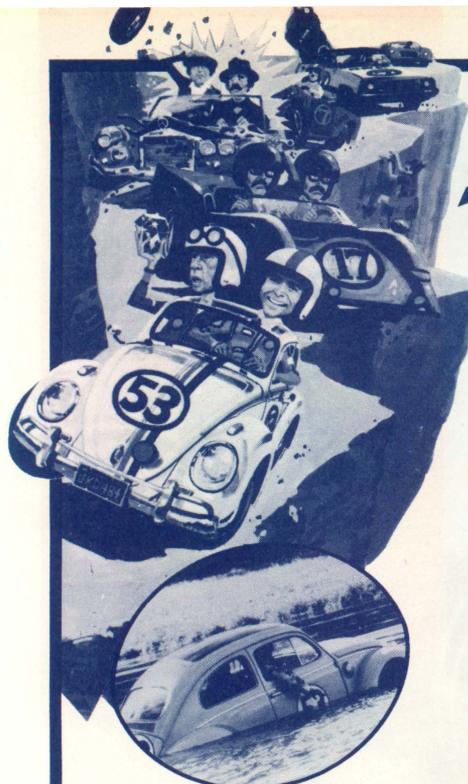
ティーン・ジョーンズ/ドン・ノッツ/ジュリー・ソマーズ/ロイ・キニア  
ジャック・マリノ/ザビエル・セント・マカリー/フランソワ・ラランド

ウォルト・ディズニー作品/監督●ビンセント・マックビーティ  
製作●ロン・ミラー/脚本●アーサー・アルスバーク/ドン・ネルソン  
キャラクター考案●ゴードン・パワード/音楽●フランク・ド・ヴォル/東宝株式会社配給



## 4月 東宝洋画系ロードショー

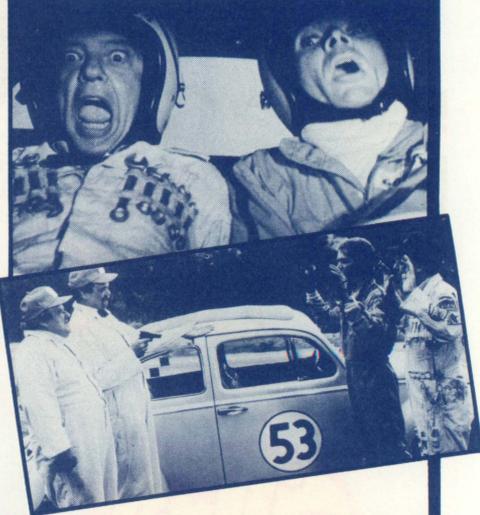
# モンテカルロ大爆走



免許証なんかもういらぬ。  
クルマが勝手に動きだした。  
デイズニーが生んだ  
世界の迷車「ラブバグ」が  
「笑い」をのつけて  
やって来たよオ

子供の頃、デイズニーのアニメーションや冒険映画に胸をときめかせ、そのすばらしさに感動したものだ。あの頃から少しは大人になつたけど、いまでもあの時の感激が心の片隅に残っているのはボクだけじゃないと思う。まだ子供だったボク達に楽しさと夢を与えてくれたのがデイズニーなんだ。そんなデイズニーが今度は80年代を生きているボク達ヤングに、「恋」と「笑い」と「スリル」がイッパイの理屈ぬきに楽しい映画を贈ろうてワケだ。「ラブバグ・モンテカルロ大爆走」がそれ。

スポーツカーみたいなカッコよさはないけど、愛嬌があつて憎めない奴——ドイツが世



界に誇るフォルクスワーゲン、なんとこの映画の主人公は、「ハービー」という名のクルマなんだ。ところがこのハービー、63年型サンルーフ付のフォルクスワーゲンだけど、普通のワーゲンとはチト違う。人間と同じにココロがあるっていうから驚いちゃう!? 街で出会ったパウダーブルーのランチャーに恋をしてライトをピカピカさせたり、自分をバカにしたオマワリにはオイルをアツカケたり、勝手に動きだしちゃうもんだから、ドライバーのジムもメカのウィリーもただタダ啞然! さてこのハービー、フェラーリ、マセラッティ、ボルシエなどの並ぶ世界のスーパーカーを相手にあのモンテカルロラリーに出場だつていうからさあタイヘン(本気がコノオー!)。さらに、六百万ドルのダイヤをめぐるってあやしい人影がチラチラしたり、「ダブルX」なんていうギャングの黒幕まで現われたりしてもうルパンも負けそう。宝石ギャングに追っかけられて、スーパーカーを追いかけて、スリルと笑い、笑いとスリルのメッチャクツチャダレース! さてハービー、目的地のモンテカルロまでたどり着くことができるかどうか?

ルパンもビックリ!!  
どこの国にも悪い奴はいらぬモンだ。  
でも悪が栄えた例はないよね!

フランスが誇る世界一のダイヤモンド「歓喜の星」。この六百万ドルのダイヤを載せようとした泥棒がいた。マックスとクインシーの二人組。ところがこの二人、目を覆いたくなるようなドジぶりで逃げる時にヘマをして警報器が鳴りだすわ、警官に追われるわで絶対絶命。なんとそのダイヤをハービーのガソリンタンクへほうり込んでトンヅラをきめこむ。フランスの一大事とあつてこの捜査にのり出してきたのが、ゼニガタ警部ならぬバリ警視庁きつてのスコット警部。ところが彼こそ、この事件の黒幕「ダブルX」その人だったのだ(ジャンジャヤヤン)。

ホントウの悪いというのは意外なところにいるもんだねエ。さて、お目当のダイヤは、ハービーのお腹の中でアルプスを越えて爆走中。例の二人、ある時はスポーツカーで、ある時は飛行機で、そしてまたある時はヘリコプターで、ダイヤを奪おうと神出鬼没。しかしそうは問屋が卸さない。なんたってハービーは普通のクルマとは違うんだから。そんなわけ、ダブルXのもくろみはことごとく失敗、とうとう自分の部下に手錠をかけられ一巻の終り。やっぱり悪は栄えない事になっているんだね。

